

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第613号

平成26年11月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail: s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL: http://www.saitama-vma.org/
振替口座 00110 - 9 - 195954 番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 三森 信行

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

埼玉県医師会と学術協力の推進に関する

- 協定書を締結……………1
- (公社)埼玉県獣医師会主催 第37回ソフトボール
大会開催される……………5
- 第58回埼玉県公衆衛生大会開催される…………10
- 要指示医薬品の適正な取扱いについて(周知依頼)…………11
- 中国における高病原性鳥インフルエンザの発生
等に伴う関係者等への指導の徹底について…………12

会務報告

- 第3回理事会……………13
- 第2回狂犬病予防委員会……………14
- 第1回厚生委員会……………14

予告

- 西支部学術講習会のお知らせ……………15
- さいたま支部学術講習会のお知らせ……………15

新入会員報告……………16

ひろば

- 新会員の抱負……………17
- 北支部・八日会・しゃくなげ会合同研修会、
動物慰霊祭開催報告……………18
- 西支部学術講習会報告……………18
- 北支部・八日会合同学術研修会開催報告…………19
- 東支部学術講習会開催報告……………19
- 彩の国さいたま動物愛護フェスティバル
2014開催される……………20

- 第24回県獣ボウリング同好会親睦大会結果報告…………24
- 「第10回やまぶきまつり」に参加し獣医師会
活動を啓発……………24
- 高橋三男会長 国税庁長官表彰を受彰…………26

お知らせ

- 埼玉県獣医師会ボウリング大会開催の
お知らせ……………27
- テレビ埼玉にて高橋会長が新春年頭挨拶…………27
- 日本獣医師会ホームページ「人材募集」
コーナーの拡充について……………28
- 平成26年度日本獣医師会獣医学術学会
年次大会(岡山)への参加(事前登録)
の推進について……………29
- 獣医師法第22条の規定に基づく届出について…………30
- 西支部新年会のお知らせ……………30

切り抜きニュース

- ペットの薬 無許可で販売
ー千葉県警 容疑の獣医師ら逮捕ー…………31
- 聴導犬知って PR犬シャチ君 桶川小で実演
ー県動物愛護フェスティバルー……………31
- 捨てられた命220匹
ー埼玉など大量遺棄ー……………32

埼玉県獣医師会学術広報版……………34

事務局より

- 事務局メモ……………35

編集後記……………36

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

埼玉県医師会と学術協力の推進に関する協定書を締結

埼玉県獣医師会と埼玉県医師会は、それぞれ医療と獣医療を専門職域とする公益的団体として、従来から人と動物の共通感染症対策の推進等、その連携に努めてきたところですが、この度、改めて、「一般社団法人埼玉県医師会と公益社団法人埼玉県獣医師会の学術協力の推進に関する協定書」を締結し、安全、安心な社会の実現に向けて、一層緊密な連携を図ることとしました。



協定書への調印が終わり立会の先生方とともに
 左から 北村直人日本獣医師会顧問、金井忠男埼玉県医師会会長、高橋三男埼玉県
 獣医師会会長、古川俊治参議院議員（医師）、三ツ林裕巳衆議院議員（医師）

近年、狂犬病や高病原性鳥インフルエンザを始めとする多くの人と動物の共通感染症対策や、食品の安全性確保への市民意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携することにより、安全、安心な社会を構築していくことが強く求められています。

このため、日本獣医師会では、昨年6月、新たに就任した藏内勇夫新会長の方針の下で、獣医師会を巡る喫緊の重点課題の一つとして、医師会との連携推進に向け「特別委員会」を設置し、検討を進めてきたところですが、その具体的方策の一つとして、昨年12月20日、「公益社団法人日本医師会と公益社団法人日本獣医師会の学術協力に関する協定書」を締結し、今後、この協定に基づき、学術情報の共有や医師と獣医師の交流等を推進するとともに、併せて各地方でも地域レベルでの連携推進に努めるよう要請されました。

このような中、埼玉県獣医師会に於いては、従来から日本獣医師会・活動指針「人と動物の健康は一つ、そして、それは地球の願い」(One World, One Health)の理念の下、埼玉県下の医療関連14団体の一員として、

医師会を始めとする各医療団体との連携、交流に努めてきたところですが、この度の日本獣医師会の方針に即して、改めて「医師会との学術協力の推進に関する協定書」の締結に向け推進を図ることとしたところです。

推進に当たっては、先ず獣医師会の理事会に於いて趣旨を説明し今後の推進については会長に一任する旨の了承を頂いた後、獣医師会 高橋三男会長と埼玉県医師会 金井忠男会長のトップレベルで協議を行い包括的に合意、その後、両団体の事務局レベルで協定書の文案や調印式の日程、方法等について調整を進めるとともに、10月14日(火)には高橋三男会長が直接、埼玉県医師会を訪問し、内容等について最終的な確認を行いました。

これらの経過を経て、10月16日(木)開催の埼玉県医師会の常任理事会及び同23日(木)の埼玉県獣医師会理事会に於いてそれぞれ協定の締結が承認され、この度の調印式開催の運びとなったところです。

(調印式の開催)

調印式は、平成26年10月23日(木)、午後6時20分から、「大宮ラフォーレ清水園」に於いて、医師会から、金井忠男会長(所沢市)を始め、金沢和俊副会長(さいたま市岩槻区)、利根川洋二常任理事(さいたま市浦和区)の出席を仰ぎ、また獣医師会からは、高橋三男会長のほか中村滋、小暮一雄両副会長を始め全ての理事及び監事、更に獣医師政治連盟からも全ての役員及び相談役が出席、また、調印式の立会人としては、医師であり弁護士でもある、古川俊治参議院議員(埼玉県獣医師政治連盟顧問、自由民主党獣医師問題議員連盟所属)及び同じく医師の三ツ林裕巳衆議院議員、日本獣医師会からは北村直人顧問(日本獣医師政治連盟委員長、元農林水産副大臣)の御臨席を賜るとともに、行政機関からも中島一郎埼玉県農林部畜産安全課長及び黒崎嘉子同保健医療部生活衛生課長の御出席を頂き、執り行われました。

調印式では、先ず、小暮副会長が開会のことば並びに趣旨説明を述べた後、調印者として両会長が、また立会を頂いた3名の先生方がそれぞれ紹介され、金井忠男、高橋三男両会長による協定書への署名、押印、更に協定書の取り交わしが行われました。

調印書を取り交わし後、先ず挨拶に立った金井忠男埼玉県医師会会長は、「獣医師会との学術協力の推進に関する調印書の締結については、日本医師会としても推進しているところであり、何ら異存はない。人の健康に向け同じ目的を持った医師会と獣医師会でもあり、これを機に一層緊密な連携を図って参りたい。」と挨拶、続いて高橋三男会長からは、「医師会の先生方の御理解により、本日の調印式に至ったことに心から感謝申し上げる。人と動物の共生に向けては色々な課題もあるが、本日の協定書の調印を一つの糧として、医師の先生方の御指導等も頂きながら獣医師の立場に於いて、最大限の努力を図って参りたい。また、立会の先生方には、医師また国会議員という幅広い観点から、一層の御指導、御鞭撻とともに御支援を心からお願い申し上げたい。」との決意も込めた御礼の挨拶がありました。

厳粛な中で滞りなく調印が終了したことから、立会のそれぞれの先生方から、「立会人としてこの場に出席できたこと



協定書を取り交わす、金井忠男医師会会長(左)と高橋三男獣医師会会長(右)

は大変光栄である、本日でめでたく調印に至ったことを心からお慶び申し上げるとともに、今後とも医師会と獣医師会が一緒になって、緊密な連携の下、安全で安心な社会の実現に頑張ってもらいたい。」との激励のお言葉を賜りました。

続いて記念撮影を行った後、中村滋副会長の御礼を込めた閉会のことばをもって、午後6時40分、調印式は閉会となりました。

この度調印した協定は、今後に於ける埼玉県医師会と埼玉県獣医師会の学術協力の推進に関する基本的な



調印式に臨まれた医師会と獣医師会の役員の先生方

前列左から 石黒富雄監事、中村滋副会長、北村直人日本獣医師会顧問、金井忠男埼玉県医師会会長、高橋三男会長、古川俊治参議院議員、三ツ林裕巳衆議院議員、金沢和俊埼玉県医師会副会長、利根川洋二埼玉県医師会常任理事、小暮一雄副会長

中列・後列は、埼玉県獣医師会及び埼玉県獣医師政治連盟役員の先生方

中列の左から二人目は、黒崎嘉子埼玉県保健医療部生活衛生課長、右端は中島一郎同農林部畜産安全課長

事項として、①両団体の学術情報の共有や、②学術情報の相互の提供、③医師及び獣医師の交流の促進等、を内容とする包括的な協定です。

本県は、関東地区では東京都に次いで2番目、全国では13番目に当たる調印締結ですが、県内では金井忠男医師会会長の地元、所沢市を始め、従来から地域レベルでも医師会との学術交流等が行われていることから、この度の高橋三男獣医師会会長からの呼びかけに対しても、何ら異存はなく、医師会側からは即答の賛意を表して頂き、円滑な協定書調印の運びとなったところです。

今後これを機に、人と動物、更に環境の三位一体の健康増進に向け、医師会とのなお一層の緊密な連携により、安全で安心な社会の構築に努めていくこととしています。

埼玉県医師会と埼玉県獣医師会の学術協力の推進に関する協定書

一般社団法人埼玉県医師会と公益社団法人埼玉県獣医師会の 学術協力の推進に関する協定書

一般社団法人埼玉県医師会（以下「甲」という。）並びに公益社団法人埼玉県獣医師会（以下「乙」という。）は、それぞれ医療及び獣医療を専門職域とする医師及び獣医師によって構成される公益団体であり、人と動物の健康の増進を通じ、国民の生活向上に貢献する使命を担っている。

特に今日、国民の間で高病原性鳥インフルエンザをはじめ多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められている。

一方、近年、世界の医療及び獣医療等関係者の間でマンハッタン原則に基づく「One World, One Health」の理念が普及し、人と動物、さらには環境の健康を増進する上で、関係者の緊密な協力関係を構築することが不可欠となっている。

さらに、2013年11月に公益社団法人日本医師会と公益社団法人日本獣医師会が学術協力を推進する旨の協定書を締結した。

このような状況に鑑み、甲及び乙は、ここに学術協力の推進について、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲と乙の学術協力に係る基本的な事項を定めることを目的とする。

（基本的事項）

第2条 甲及び乙は、安全で安心な社会を構築するため、医療及び獣医療の発展に関する学術情報を共有し、連携・協働するものとする。

2 甲及び乙は、前項の理念に基づき、両者が必要とする学術情報を可能な限り相互に提供する。

3 甲及び乙は、両者による課題別及び体系的活動の推進を図るものとする。

4 甲及び乙は、埼玉県における、医師及び獣医師の交流を促進する。

（協議）

第3条 この協定に定めのない事項については、甲及び乙がその都度協議の上定めるものとする。

（協定の更新）

第4条 この協定の有効期間は、協定締結の日から起算して1年間とする。期間満了の1か月前までに甲又は乙から更新しない旨の申し入れがないときは、この協定は更新されるものとし、以降もまた同様とする。

この協定の証として本書2通を作成し、甲乙記名捺印の上、各自その1通を保有する。

平成26年10月23日

〒330-0062

埼玉県さいたま市浦和区仲町3丁目5番1号

甲 一般社団法人 埼玉県医師会

会長 金井忠男

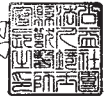


〒330-0835

埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目340番地

乙 公益社団法人 埼玉県獣医師会

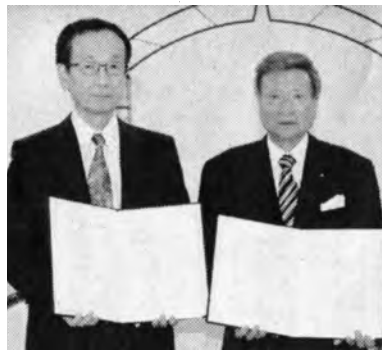
会長 高橋三夫



新聞報道記事

鳥インフルエンザなど人と動物に共通する感染症問題に関心が高まる中、昨年11月に日本医師会と日本獣医師会が学術協力の推進に関する協定を締結。これを受け全国で両会の連携が進められている。県の協定締結は全国で13番目、関東では2番目となる。

さいたま市大宮区で行われた調印式で金井会長は、「獣医師会からの呼び掛けに賛成の意を即答した。お互いに働きかけを進めていければ」と述べ、高橋



◆県医師会と県獣医師会が学術協力協定 県医師会（金井忠男会長）と県獣医師会（高橋三男会長）は23日、学術協力の推進に関する協定を締結した。

情報
クリップ

会長は「協定を一つの糧として、人と動物の共生を目指していきたい」と意欲を見せた。写真。今後は、人と動物に共通する医学情報を共有し、医師と獣医師の交流などを促進。人・動物・環境の三位一体の健康を増進する「ワンワールド・ワンヘルス」（世界は一つ、健康は一つ）の理念も広げていく考えだ。（山田浩美）

(公社)埼玉県獣医師会主催

第37回ソフトボール大会開催される

恒例の埼玉県獣医師会主催ソフトボール大会が平成26年11月9日(日)に開催されました。今年で37回目を迎えるこの大会は、当初、体育の日の10月13日(月)に予定されていましたが、昨年同様に台風の影響を受けて順延されていたものです。この日は未明から雲が厚く、時折、雨が混じるあいにくの空模様となりましたが、幸いグラウンドコンディションには影響がなく開催することができました。

会場準備に当たっては、厚生委員を始め、御協力を頂いた先生方や賛助会員の方々に早朝から大変御苦労を頂きました。

また、午前8時から厚生委員会を開催して大会運営について協議いたしました。天候不順で、午後からは降雨も予想されておりましたので、開始時間を早め、試合時間も短縮することなどを決定した上で、予定より早い午前8時50分に開会式を迎えました。



開会式で挨拶する高橋三男会長

開会式

開会式は、川口進厚生委員会副委員長の司会により進行されました。

大橋邦啓厚生委員長の開会のことばに続き、高橋三男会長の挨拶、来賓の農林部畜産安全課長 中島一郎先生（農林支部）、保健医療部生活衛生課長 黒崎嘉子先生（衛生支部）の御祝辞を頂き、食品安全課長 伊藤誠一先生（衛生支部）を御紹介いたしました。



埼玉県畜産安全課長 中島一郎先生（農林支部）



埼玉県生活衛生課長 黒崎嘉子先生（衛生支部）

続いて、吉見町ソフトボール協会所属の矢沢さんなど6名の審判員の紹介、浅見裕委員（北支部）による大会ルールと注意事項の説明の後、昨年優勝のさいたま市支部チームを代表して、川上雄彦先生（さいたま市支部）が優勝カップの返還と選手宣誓を行いました。

次に、賛助会員様からの御協賛品の紹介、渋谷正一委員（衛生支部）の先導による準備体操の後、9時20分から試合が開始されました。



川上雄彦先生（さいたま市支部）による選手宣誓

優勝を目指して14チームが熱戦

順延となった大会開催となりましたが、予定していた14チーム全てが参加するなか、高橋三男会長、中村滋、小暮一雄両副会長及び伊藤誠一埼玉県食品安全課長（衛生支部）により始球式が行われ、優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

昨年に引き続き結成された「選抜チーム」は、“交流”をキーワードに支部の枠を超えた選手で構成されており、高橋会長が監督の指揮を執りました。

また、一回戦の敗者チームが戦う特別戦や賛助会員同士の対戦も組まれ、トーナメント形式により延べ21試合の戦いが5面のグラウンドで行われました。

試合は厚生委員の先生方の適切な運営により円滑に進み、日頃の練習成果を如何なく発揮して、豪快なフルスイングや泥にまみれて白球を追う姿に、選手も応援団も一喜一憂し、試合を重ねるごとに熱気を帯びた戦いとなりました。



グラウンドでは熱戦が繰り広げられた

交流を深める各チーム

時間を短縮するため休憩時間を取ることができませんでしたが、試合の合間を縫って、昼食にいただきました。

恒例となりましたバーベキューも公園側の配慮で行うことができ、慌ただしい中でも昼食を楽しむ姿が見られ、会員相互の交流を深めることができました。



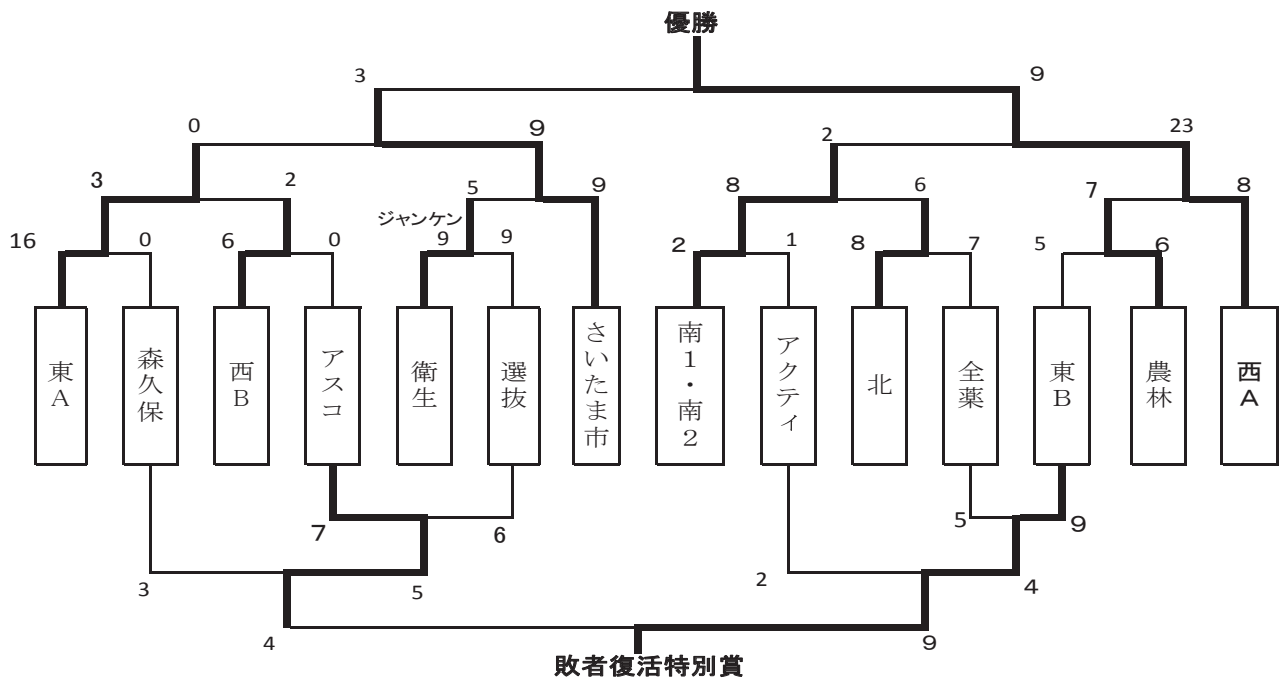
バーベキューで交流を深める会員の皆様

決勝戦 — 西支部Aチームが優勝！ 特別戦は東Bチームが制する —

準決勝は東支部Aチームとさいたま市支部チーム、南第1・第2支部合同チームと西支部Aチームの対戦となり、昨年の覇者のさいたま市支部チームと昨年準優勝の西支部Aチームが勝ち上がり、決勝で激突しました。

昨年と同じ対戦となった決勝は、初回にリードを許した西支部Aチームが、2、3回に大量点を挙げ、9対3で3年ぶりの栄冠を手に入れました。

一方、敗者復活の特別戦は、東支部Bチームが制しました。1回戦の敗退にも気後れせずに本来の力を発揮した東支部Bチームが、決勝ではアスコチームを破り、めでたく特別賞を獲得いたしました。



決勝戦 対戦表

回数 チーム名	1	2	3	4	計
さいたま市	1	1	1	0	3
西 A	0	4	5	×	9

閉会式

熱戦を終えて午後2時から閉会式が行われました。

高橋秀児委員（東支部）が成績を発表し、優勝した西支部Aチーム、準優勝のさいたま市支部チーム、3位の東支部Aチーム及び南第1・第2支部合同チーム、また、特別戦を制した東支部Bチーム、賛助会員の対戦で優勝したアクティチームに高橋三男会長から賞状やトロフィーが授与され健闘を称えました。



優勝のトロフィーを手にする西支部Aチーム
右から 鈴木新先生、小山正人先生、高橋三男会長



特別賞の東支部Bチーム
代表して受賞する、右から、大和裕先生と山下啓吾先生

また、大会を最も盛り上げてくれた各チーム推薦の選手や開催の準備と運営に多大な御協力を賜りました審判団には、記念品を贈呈し、その労をねぎらうとともに感謝の意を表しました。

大会を盛り上げてくれた選手の皆様は次の方々です。

さいたま支部	永野憲次選手	衛生支部	渋谷正一選手
南第一支部	田中 裕選手	農林支部	丸山盛司選手
南第二支部	石黒富雄選手	アクティ(株)	小出雄也選手
西支部	大山龍也選手	(株)アスコ	五十嵐誠選手
北支部	湯本哲夫選手	森久保薬品(株)	土屋 誠選手
東支部	川村明美選手	日本全薬工業(株)	橋本憲輝選手



大会を盛り上げてくれた各チームの選手たち

終わりにあたり、小暮副会長の万歳三唱と中村滋副会長の閉会の言葉をもって、第37回ソフトボール大会は午後2時30分に盛会裡のうちに無事、幕を閉じました。



優勝を飾った喜びの西支部チームの皆様

今にも雨が降りだしそうな肌寒い一日でしたが、予定していた試合を全て行うことができました。

開催に当たり厚生委員の先生方を始めお手伝い頂いた皆様には、早朝からグラウンド整備や大会の準備に御苦勞を頂きました。特に、大山通夫先生には審判団の手配などに大変な御尽力を賜りました。

また、賛助会員の皆様には多くの賞品等を御協力頂くなど御支援を賜り厚く御礼申し上げますとともに、お忙しい中、御参加を頂いた多くの会員の先生方、並びに御家族の皆様に改めて感謝申し上げます。



参加者全員で記念撮影

第58回埼玉県公衆衛生大会開催される

平成26年11月15日(土)午後2時から、さいたま市のさいたま共済会館6Fホールにおいて、第58回埼玉県公衆衛生大会が開催され、本会の4名の先生方が「公衆衛生事業功労者」として埼玉県知事表彰を受賞されました。

当日は、主催者の上田清司埼玉県知事代理の塩川修副知事から「公衆衛生活動に対する皆様の長年にわたる尽力により、我が国は世界に類を見ない高齢化社会を迎えることができた。埼玉県では、だれもが毎日を健康で暮らせる日本一の健康長寿社会を目指し、様々な対策を進めている。皆様には、それぞれの立場から埼玉県の取組にこれまで以上に御支援、御協力をお願いするとともに、益々の御活躍を祈念する。」との御挨拶がありました。

続いて、公衆衛生事業功労者(97名)や功労団体などの受賞者のお名前が紹介され、副知事から受賞者代表に表彰状が授与されました。

来賓の長峰宏芳埼玉県議会議長並びに金井忠男埼玉県医師会会長が祝辞を述べられた後、高橋三男埼玉県獣医師会会長をはじめ保健医療関係団体の会長が紹介されました。

式典終了後、副知事や議長を囲んでの記念撮影が行われ、公衆衛生大会は午後2時40分に閉会しました。

本年度、受賞の栄に浴された(公社)埼玉県獣医師会会員の先生方は次のとおりです。誠におめでとうございます。

公衆衛生事業功労者表彰受賞者

大澤 健 先生	さいたま市支部 (さいたま市)	新井千明 先生	北支部	(熊谷市)
山田一樹 先生	西支部	(川越市)	中村正幸 先生	東支部 (行田市)



左から 大澤 健先生(さいたま市支部)、中村正幸先生(東支部)、高橋三男会長、塩川修埼玉県副知事、長峰宏芳埼玉県議会議長、山田一樹先生(西支部)、右上は新井千明先生(北支部)

事 務 連 絡

平成26年11月13日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 矢ヶ崎 忠 夫

要指示医薬品の適正な取扱いについて(周知依頼)

今般、平成26年11月12日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課から、都道府県畜産主務課長に、要指示医薬品等の適正な取扱いがなされるよう、獣医師法及び薬事法について、獣医師をはじめとする関係者に対して改めて周知徹底方依頼したことについて通知されるとともに、本会会員に対する周知徹底を要請されましたのでお知らせします。

本件については、最近、獣医師が犬や猫の診察を行わずに元ペットショップ経営者やブリーダーらに対しワクチン等を無許可販売したとして逮捕される事例が起きていることから、農林水産省として、獣医師法及び薬事法の遵守について、獣医師をはじめとする関係者に対する周知徹底を求めたものです。

これまで獣医師に対する行政処分等各般の不祥事発生時等において、再三に渡り貴会会員獣医師に対する指導の徹底をお願いしているところではありますが、改めて日本獣医師会獣医師倫理綱領(獣医師の誓い—95年宣言)の精神に立ち返り、高度専門職業人としての職業倫理意識を常に発揮するよう、貴会会員獣医師に対し獣医師職業倫理の指導・普及に努められるようお願いいたします。

なお、貴会会員獣医師に対し、①獣医師法、獣医療法、薬事法及び法令違反等の事実が判明した場合には、当該獣医師から農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課担当者または都道府県畜産主務部局に報告するよう指導を行うとともに、②獣医師法上の処分の対象となり得る者の情報を貴会が把握した場合は、その旨を農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課担当者または都道府県畜産主務部局に情報提供を行うよう、併せてお願いいたします。

※詳細(別添含む)については、日本獣医師会ホームページ(新着情報)をご覧ください。

26日獣発第208号

平成26年11月11日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

中国における高病原性鳥インフルエンザの発生等に伴う 関係者等への指導の徹底について

このことについて、平成26年10月27日付け26消安第3751号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、中国における高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況について、2014年10月24日付けの国際獣疫局(OIE)への報告によると、①農場、生鳥市場、野鳥生息地等を対象とする定期的なサーベイランスのうち、9月中旬実施分の結果として、別紙1のとおり多数の本病ウイルスの検出事例が報告されたこと、②我が国への渡り鳥の経由地と考えられている中国北東部黒竜江省北部や遼寧省渤海海岸の湿地等でウイルスが検出されていることから、野鳥による我が国への本病ウイルスの侵入リスクが非常に高い状況にあると考えられること、③韓国においても本年9月以降もHPAI(H5N8 亜型)の発生が報告されていることから、中国及び韓国における本病のウイルスの検出及び発生状況について、家きん飼養農家を含む畜産関係者等に広く周知するとともに、HPAIの発生予防措置及び監視体制の強化について再度確認し、万全を期するよう、都道府県畜産主務部長宛てに通知した旨、了知の上、本会会員に周知するよう依頼されたものです。

なお、海外におけるHPAI等の家畜伝染病の発生状況等の必要な情報については、農林水産省のホームページ等を通じて積極的に公表するので、防疫体制の更なる充実のため参考とされたい旨、併せて連絡されております。

＜農林水産省ホームページ：鳥インフルエンザに関する情報＞

U R L : <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

※詳細（別添含む）については、日本獣医師会ホームページ（新着情報）をご覧ください。

会務報告**第3回 理事会**

平成26年10月23日(木)午後4時から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」において次の事項を審議した。

1 会長挨拶

日本獣医師会では、「医師会との連携」、「狂犬病予防対策の推進」並びに「女性獣医師の活用」の課題について特別委員会を設置してその解決に取り組んでおり、地方会としても積極的にこれらの対応に努力しなければならない。獣医師会は学術団体として技術研鑽に努めるとともに、会員が獣医師としての役割をしっかりと果たしていくことが、諸課題の解決につながっていく。

2 報告事項**(1) 業務執行理事職務執行状況に関する件**

業務執行理事からそれぞれの職務について執行状況が報告された。

(2) 前理事会後に開催された委員会等に関する件

ア 第1回狂犬病予防委員会及び班長会議 平成26年度集合狂犬病予防注射実施状況等について
(7月15日)

イ 第2回獣医事調査委員会 新入会員の審査について(10月9日)

(3) 日本獣医師会主催の全国獣医師会会長会議及び動物感謝デーの開催概要並びに獣医学術関東・東京合同地区学会の開催概要について**3 議決事項****第1号議案 新入会員の承認に関する件**

入会申込み(開業支部3名、勤務部会18名)について審査の上、全ての入会を承認した。

第2号議案 平成25年度傷病野生鳥獣治療業務等経費の配分承認に関する件

平成25年度傷病野生鳥獣治療業務及びアライグマ処分業務に係る委託費について、指定診療施設ごとの配分額を承認した。

第3号議案 埼玉県医師会と埼玉県獣医師会の学術協力推進に関する協定書の締結に関する件

埼玉県医師会と埼玉県獣医師会とが、人と動物の共通感染症などで学術協力する協定を締結することを承認した。

第4号議案 公務員獣医師の処遇改善に係る要請活動に関する件

公務員獣医師の処遇改善について、埼玉県知事等に対して要請していくことを承認した。

4 報告・協議事項**ア 獣医学教育環境の整備・充実に関する件**

獣医学科の新設に反対し、獣医学教育の改善・充実を要請していくことを6月の第2回理事会で決議しており、その後の状況について報告がなされた。

イ 平成26年度下半期の行事日程等に関する件

新入会員研修会や狂犬病予防委員会等の開催日程について協議した。

ウ 当面する課題について

獣医師会を取り巻く最近の情勢について報告され、意見交換を行った。

第2回 狂犬病予防委員会

平成26年10月28日(火)午後1時から、千代田区「日比谷公会堂」において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

今年度の「集合狂犬病予防注射実施者講習会」は、日本獣医師会の「小動物臨床講習会」に位置付けるとともに、埼玉県には行政面から狂犬病対策について講演いただくこととしており、関東ブロック獣医師会をはじめ市町村にも案内している。委員各位には、有意義な講習会になるよう運営にあたってもらいたい。

2 協議事項

(1) 狂犬病予防対策に関する講習会の開催について

狂犬病予防対策に関する講習会の内容並びに開催当日の進め方等について協議し、決定した。

日 時 平成26年11月19日(水) 午後1時45分～

場 所 大宮ソニックシティ 小ホール

講習内容 埼玉県に於ける動物行政について

講師 埼玉県保健医療部生活衛生課 主幹 橋谷田元先生

獣医療を巡る情勢と今後の方向について

講師 株式会社ブイエムスリー

代表取締役社長(獣医師) 氏政雄揮先生

情勢報告 公益社団法人日本獣医師会副会長 酒井健夫先生

日本獣医師政治連盟委員長 北村直人先生

(2) 平成27年度集合狂犬病予防注射実施スケジュールについて

平成27年度集合注射の実施に向け、実施者との契約締結事務や委員会の開催等の日程について協議した。

(3) その他

狂犬病予防対策を巡る最近の情勢について報告され、意見交換を行った。

第1回 厚生委員会

平成26年11月9日(日)午前8時から、吉見町の埼玉県吉見総合運動公園内において、第37回ソフトボール大会の開催に向けて会場の準備や大会運営について再確認した。

また、埼玉県獣医師会主催のボウリング大会について協議し、次のとおりの開催が決定した。

名 称	(公社)埼玉県獣医師会主催ボウリング大会
開 催 日	平成27年2月8日(日)
場 所	スポーツ浦和国際ボウル(さいたま市桜区)
範 囲	会員、会員の家族及び従業員、賛助会員
規 模	60名(20レーン)



予 告

西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3 (12))

西支部長 三森 信行

西支部では12月21日(日)に内分泌を極めるシリーズの締めくくりとして、東京大学の松木直章先生をお招きして「甲状腺疾患」の講習を行います。

年末のお忙しいところと思われますが、多数の先生方のご参加をお待ちいたします。

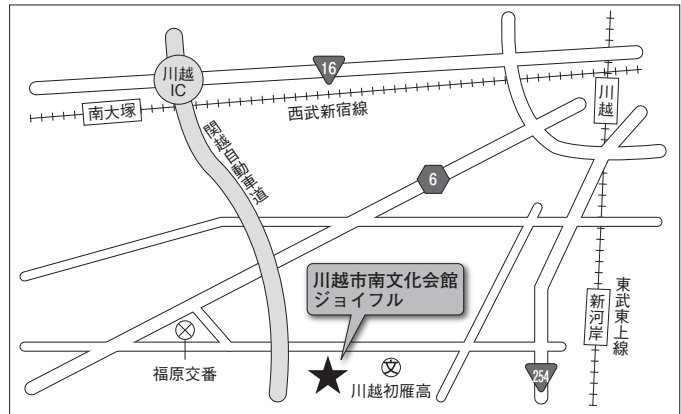
日 時 平成26年12月21日(日)
13:30～16:30 (13:00受付)

場 所 川越市南文化会館 ジョイフル
川越市大字今福1295-2
TEL: 049-248-4115

演 題 内分泌を極める 3: 甲状腺

講 師 東京大学 松木直章 先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (1) 小3 (3))

さいたま市支部長 新井 宣明

さいたま市支部では2月1日(日)に米国獣医病理学専門医であり、どうぶつの総合病院病理科の近藤広孝先生をお招きして学術講習会を開催致します。2014年6月22日に開催された南第一支部でのご講演に引き続きいた各論として、第1部 犬・猫の眼瞼・眼球腫瘍の病理～基礎から最新知見まで～

第2部 猫のパピローマウイルス関連皮膚腫瘍～乳頭腫だけじゃない！？～
と題しご講義いただきます。

講演に先立ち、近藤先生から次のようなコメントを頂いています。

〈臨床でも病理でも、「メラノーマ」という用語が混乱を招いており、正確にはメラノーマは悪性、メラノサイトーマが良性を指すにも関わらず、入り乱れているのが実情です。

眼球腫瘍はこのあたりを説明するのに都合の良い器官ですので、そのあたりも交えてお話しできればと思います。

後半では、数年前に海外で話題になったパピローマウイルスが関連した猫の皮膚腫瘍をお話ししたいと思います。

一般的にはパピローマ(乳頭腫)のイメージがありますが、猫では扁平上皮癌に関連している事も明らかになりました。

その臨床的推移や発生機序などをお話しできればと思います。〉

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成27年2月1日(日) 13:30～17:00

場 所 With You さいたま (ホテルブリランテ武蔵野4階)
視聴覚セミナー室
さいたま市中央区新都心2-2
電話 048-601-3111

演 題 第1部 犬・猫の眼瞼・眼球腫瘍の病理
～基礎から最新知見まで～
第2部 猫のパピローマウイルス関連皮膚腫瘍
～乳頭腫だけじゃない！？～

講 師 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員外の受講者 5,000円



新入会員報告

新 入 会 員



かわかみ たろう
川上 太朗
さいたま市在住
さいたま市支部



おおの じゅん
大野 潤
草加市在住
南第一支部



やました けいご
山下 啓吾
越谷市在住
東支部

開業部会

支 部 名	氏 名	診 療 所 名
さいたま市	川 上 太 朗	さいたま市見沼区・(株)COWOX
南 第 一	大 野 潤	草加市・ぽっとまむ動物病院
東	山 下 啓 吾	越谷市・麻の葉動物病院



くわこ だい
桑子 大
東京都国分寺市在住
団体支部

勤務部会

支 部 名	氏 名	勤 務 先
団 体	桑 子 大	志木市・志木いわい動物病院

ひろば

新入会員の抱負 埼玉県獣医師会に入会して

団体支部 伊藤 宏太
(ワラビー動物病院)



居候猫のドナルドと一緒に。カメラ目線になってもらおうと、あの手この手を使いましたが、あえなく惨敗しました。

昨年、埼玉県獣医師会に入会させていただいた伊藤宏太（いとうこうた）と申します。

私は2013年に鳥取大学を卒業し、蕨市のワラビー動物病院に就職させていただきました。今年が2年目のまだまだ未熟者の獣医師です。実家は加須市（旧騎西町）でありまして、現在住んでいる蕨市からは遠いものの、やっと親しみのある埼玉県に帰ってこられたことにホッと胸をなでおろしております。

昨年、大学を卒業してようやく仕事にも慣れてきた8月、私の祖父で、獣医師でもあった正義（まさよし）が90歳で亡くなりました。祖父は埼玉県獣医師会に大変お世話になっておりました。葬儀の際、高橋三男会長にもお忙しいところ急遽駆けつけていただき、お別れのことばをいただいたことに感謝しております。また、中村滋副会長をはじめ加須班の先生方にも、祖父が高齢となり仕事ができなくなってからも手厚くお世話をしただけ、感謝の気持ちが尽きません。

私が獣医師になるきっかけを与えてくれたのも、やはり祖父でした。小さいころから働いている祖父の姿は見ておりましたが、開業はしていたもののきちんとした病院を構えることができず、ちょっと寂しい思いがありました。私の夢は、いつの日か加須の土地に病院をつくり、近隣の先生方とも協力しながら地域に貢献することです。いずれ、加須に帰った際には、東支部を中心に埼玉県獣医師会の先生方にお世話になります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

最後に、私事にはなりますが、獣医師の花嫁さんを募集中です。一緒に加須で動物病院を開業したいという方がいらっしゃったら、ご連絡お待ちしております。

北支部・八日会・しゃくなげ会合同研修会、動物慰霊祭開催報告

埼玉県獣医師会北支部長 大橋 邦啓
 埼玉県八日会長 湯本 哲夫
 関東しゃくなげ会埼玉県支部長 柿沼 清市

10月17日(金)14:30から熊谷家畜保健衛生所講堂において、酪農学園大学 大塚浩道先生を講師にお招きして、「仔牛の免疫について」と題してご講演をいただきました。

免疫に関しては、ほんの数年前に卒業した人たちが授業で教わらなかった分野での最近の知見が多く、獣医学は日進月歩であると痛感するとともに、あらためて学術講習会の意義は重大であると会員一同深く感じた次第です。

なお、これに先立ち13:30から同所動物慰霊碑前にて、平成26年度の動物慰霊祭が執り行われました。

当日は会員をはじめ行政関係の先生方にも多数参加をいただき、慰霊碑前に祭壇を設け、支部長が慰霊の詞を読み上げ、読経の流れる中お焼香をして、参加者全員動物の御霊に感謝の気持ちをあらわしました。

<参加者内訳>

出席者	西支部	北支部	農林支部	団体支部	会員外
36名	1名	16名	8名	8名	3名

西支部学術講習会報告

西支部学術委員 矢萩 智男

10月19日(日)川越南文化会館「ジョイフル」において、学術講習会を開催いたしました。

「内分泌を極める2 副腎」と題して3月にご講演をいただいた東京大学 松木直章先生をお招きしました。

クッシング症候群とアジソン病、さらに選択的アルドステロン症といったあまり聞きなれないものまで網羅して、ご講演いただきました。

お忙しい中、貴重なご講演をいただきました松木先生に、深くお礼を申し上げますと共に、参加下さった皆さんの先生方にも、合わせて感謝いたします。

松木先生には内分泌シリーズとして、甲状腺をテーマに3回目の講習会を12月21日(日)予定しております。また、3月にはバランス麻酔と周術期管理をテーマとして小動物麻酔鎮痛サポートの長浜正太郎先生をお招きしての講習会を予定しております。今回同様皆さんの先生方のご参加をお待ちいたします。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
47名	1名	3名	1名	27名	1名	4名	5名	5名

北支部・八日会合同学術研修会開催報告

北支部長 大橋 邦啓
八日会会長 湯本 哲夫

北支部・八日会合同研修会を、「児玉文化会館セルディー」にて10月26日(日)に開催いたしました。

今回は日本大学生物資源科学部獣医学科獣医外科学教室専任講師 枝村一弥先生をお招きし、「違いのわかる獣医師になろう!! 前肢の歩行異常を見きわめる ～とりあえず NSAIDs でいいのか?～」というテーマでご講演をいただきました。

枝村一弥先生には短い時間内に盛りだくさんの講演依頼で、ご無理・ご迷惑をおかけいたしました。ご参加いただきました先生方にとっては、たいへん有意義な研修会となったものと思います。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
28名	0名	0名	1名	1名	19名	1名	3名	3名

東支部学術講習会開催報告

東支部学術委員 佐久間 昭仁

10月26日越谷サンシティにおいてコーネル大学准教授(米国獣医外科専門医)林 慶先生をお招きし膝蓋骨脱臼治療の合併症、橈骨・尺骨の骨折治療の合併症」と題して学術講習会を開催いたしました。

膝蓋骨脱臼の疫学と治療方法の決定を実症例と動画を交えながらご講演いただきました。膝蓋骨脱臼の外科的治療法の原理では、解剖学を熟知することと、グレード別に用いる手術のポイントを解説していただきました。

橈骨・尺骨の骨折治療では、骨折手術の基本原則を理解し、治療法の決定、固定方法、整復とその維持、失敗の原因に関して、動画を交えながら解説していただきました。今回参加いただきました先生からも活発な質問があり、大変有意義な講習会となりました。ご参会いただいた多くの先生方に感謝いたします。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
53名	6名	3名	0名	2名	0名	34名	8名	0名

彩の国さいたま 動物愛護フェスティバル2014 開催される

埼玉県動物指導センター所長 三田 和正

10月26日(日)、桶川市立桶川小学校体育館において、埼玉県と鴻巣保健所管内鴻巣狂犬病予防協会の共催で、公益社団法人埼玉県獣医師会の御支援を賜り「彩の国さいたま 動物愛護フェスティバル2014」を開催いたしました。

動物愛護フェスティバルは、動物の愛護及び管理に関する法律第4条に基づく動物愛護週間事業のひとつとして、広く動物愛護思想の普及啓発を図ることを目的に、平成5年度から毎年1回、「人と動物が共存できる豊かな社会をめざして」をテーマに県内の各地域で実施しております。

開催に当たり、動物愛護の普及啓発事業に深い御理解をいただいている小野克典桶川市長様をはじめ桶川市の皆様には会場の提供や設営に多大な御協力を賜りまして誠に感謝を申し上げます。また、例年、当事業に御理解と多大な御支援をいただいております公益社団法人埼玉県獣医師会におかれましては、高橋三男先生はじめ会員の皆様に会場の選定や企画等について御指導、御協力を賜りました。

ここに厚くお礼を申し上げます。



受賞者（動物愛護管理功労者）を囲んで

左から 三田和正埼玉県動物指導センター所長（衛生支部）、中村英次鴻巣狂犬病予防協会会長、高橋三男会長、上野治先生（受賞者、南第二支部）、新井宣明先生（受賞者、さいたま市支部）、小野克典桶川市長、黒崎嘉子埼玉県生活衛生課長（衛生支部）

桶川市立桶川小学校体育館を会場に多彩な催しを開催

開催日については、多数のお客様に御来場いただき、動物愛護思想の普及啓発がより効果的に実施できるよう10月26日(日)としました。当日はすばらしい秋空となり、会場には親子連れのお客様など多くの来場者を迎えることができました。

今回のフェスティバルは、「みて・きいて まなぼう」、「動物とふれあおう」、「たのしもう」をキャッチフレーズに各ブースを設け、午前10時から午後3時まで開催しました。

「みて・きいて まなぼう」では、鴻巣狂犬病予防協会の獣医師の先生方による獣医さん体験コーナーやマイクロチップの測定体験、ペットの健康相談などに加え、補助犬の一つである聴導犬について理解を深めていただくために聴導犬普及協会による聴導犬コーナーを設けました。

「たのしもう」では、動物モール教室、バルーン教室、折り紙・お絵かき、コバトンとの記念撮影コーナーなどを設け、中央ステージでは当センターボランティアによる漫談、マジックショーも行いました。

「動物とふれあおう」ではウサギやモルモットとのふれあいコーナーを設け、小動物たちの温もりや心音を聞いていただきました。

そのほか桶川市内の小学生が描いてくれた動物愛護のポスターの展示や災害に備えたペット防災コーナー、各種啓発パネルの展示を行いました。

また、本年は埼玉県中央環境管理事務所にも参加していただき「野生動物との正しいつきあい方」のコーナーを設け、特定外来生物の剥製の展示もしていただきました。



子どもたちに犬の心音を聞かせる鴻巣狂犬病予防協会の先生方

開会式典で動物愛護管理功労者を表彰

舞台では、「開会式典」を開催しました。

開会式典は午前11時から行われ、来賓として開催地の小野克典桶川市長に御祝辞をいただくとともに、フェスティバルを後援していただいた公益社団法人埼玉県獣医師会の高橋三男会長から本事業に対する力強い応援と動物を慈しむ心など動物愛護フェスティバルならではの御祝辞をいただきました。



開会式典



開会のことばを述べる
中村英次 鴻巣狂犬病予防協会会長



主催者挨拶をする三田和正
埼玉県動物指導センター所長



式典で祝辞を述べる
高橋三男会長



式典で祝辞を述べる
小野克典 桶川市長

引き続き、動物愛護管理功労者に対する表彰式が執り行われ、褒状が伝達されました。

本褒賞は、動物の福祉及び愛護の増進に寄与された方の御功績を動物愛護管理功労者として広く顕彰するもので、毎年9月20日から26日の動物愛護週間に、日本獣医師会動物愛護週間関連行事褒賞として行われております。

本年度は、埼玉県から開業獣医師として御活躍されておられます新井宣明先生と上野治先生が受賞されました。誠にありがとうございました。表彰状は、公益社団法人日本獣医師会関東地区選出理事であります埼玉県獣医師会の高橋三男会長から授与されました。

どうぶつ愛護講座を開催

開会式典終了後、「どうぶつ愛護講座」としまして、午前11時15分から正午までと午後1時45分から午後2時30分までの2回にわたり、特定非営利法人（NPO）聴導犬普及協会の水越みゆき先生のお話と聴導犬シャチ君によりデモンストレーションが行われました。午後の「聴導犬のお仕事」のデモンストレーションには、小野克典桶川市長にも参加していただき、聴導犬が聴覚障がい者の方を起床させるお仕事を体験していただきました。市長も聴導犬に起床させてもらうことを体験し、大変感心しておられました。

多くの子供たちにも聴導犬の働きを実際に体験してもらい、聴導犬に対する理解を深めることができました。

聴覚障がい者の方の安全を守り、自立と社会参加の促進に大きな手助けとなる聴導犬の必要性和重要性とともに、育成訓練する大変さについてよく御理解をいただけたのではないかと思います。



「聴導犬のお仕事」を寝て体験する
小野克典 桶川市長



聴導犬の講演



熱心に聞き入る来場の皆さん

桶川市立桶川小学校体育館において開催しました「彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2014」が秋の好天の下、多くのお客様をお迎えして盛況の内に終了することができましたことは、桶川市や公益社団法人埼玉県獣医師会の皆様をはじめ、関係者の皆様の多大なる御協力の賜であると存じます。

ここに改めまして、御来場、御参加いただきました方々、関係各位に心から感謝を申し上げます。



聴導犬の仕事を体験

広告

家族ぐるみで、大きな安心。
獣医師専用の
保険が揃いました。



新登場!!

獣医師賠償責任保険
所得補償保険
団体長期障害所得補償保険
新・団体医療保険
傷害総合保険
動物病院従業員補償傷害総合保険

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容についてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

団体・公務開発部第二課
〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3
TEL:03-3593-6453 FAX:03-3593-6751
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

第24回 県獣ボウリング同好会親睦大会 結果報告

県獣ボウリング同好会事務局 斎藤 和也

ボウリング同好会の親睦大会が、11月16日(日)午後5時からスポーツ浦和国際ボウルにて開催されました。肌寒い夕暮れ時に20名の選手が集合しました。

前回大会2位でその好調さを維持した斎藤和也選手が、ひさしぶりに優勝しました。

		スクラッチ	ハンディ	合計
優 勝	斎藤 和也さん (さいたま市支部)	603点	0点	603点
準優勝	湊 孝裕さん (南第一支部)	387	195	582
3 位	小林 奈央さん (さいたま市支部)	331	240	571

ハイゲーム	男子	新井 宣明さん (さいたま市支部)	224点
	女子	布川香奈江さん (南第一支部)	157点

そして優勝賞品は松坂牛1kg、きっと奥様は大喜び。2位はアスコ賞・缶ビールセット、3位は県獣会長賞・ディズニールンドペア入場券でした。

大会に協賛していただきました、株式会社アスコ、森久保薬品株式会社、アクティ株式会社、株式会社大宮武蔵野ペット霊園、日本全業工業株式会社 各社に御礼申し上げます。

おかげさまで、みなさんが参加賞と順位賞をいっぱい貰うことができ、身も心も暖まったの表彰式、終了になりました。



左から 優勝者 斎藤和也さん
2位 湊孝裕さん、3位 小林奈央さん

次回は、来年の2月に県獣医師会・厚生委員会主催のボウリング大会が開催されます。ボウリング同好会も準備のお手伝いをさせていただきます。みなさん、参加してください。

「第10回やまぶきまつり」に参加し獣医師会活動を啓発

元気満載！わがまち岩槻区民フェア「第10回やまぶきまつり」が、商工業や農業、福祉、医療関連団体等多くの参加の下、11月2日(日)、さいたま市の岩槻文化公園で開催され、獣医師会会員も多数参加し、まつりを盛り上げました。

まつりは、高橋三男実行委員長による主催者挨拶、来賓の祝辞の後、本会会員の諏訪流放鷹術保存会鷹匠大橋邦啓先生（北支部）の鷹「ハリスホーク」による開会宣言の伝達により開会となりました。

獣医師会では地元、さいたま市支部岩槻分会（高橋一成分会長）の先生方が支部役員とともに参加し、盲導犬協会の協力を得て「盲導犬ふれあいコーナー」での実演や盲導犬育成のための募金活動等、獣医師会活動や盲導犬の普及、啓発を行いました。

また会場では、「ふれあい移動動物園」も開設されるほか、今年初めて参加した埼玉県中央環境事務所による「アライグマ」等の剥製の展示、更には加藤牧場（入間市）による牧場直送アイスクリームの販売も行われ、広いまつり会場は、4万人を超える来場者で一日、賑わいました。



獣医師会さいたま支部テントの前で
左から 岩槻区役所西川毅様、岩槻区区长 中井達雄様、埼玉県中央環境管理事務所長 土屋雅子様、さいたま市長 清水勇人様、高橋一成先生（岩槻分会会長）、高橋三男会長、東日本盲導犬協会 堂岡由貴様、川上顕先生（岩槻分会）、古川原敏江先生（岩槻分会）、小滝雄一先生（岩槻分会）



子供達で賑わう「ふれあい移動動物園」



「アライグマ」(右) と「ハクビシン」(左)

また、翌、3日（文化の日）には、大橋邦啓先生率いる諏訪流放鷹術保存会鷹匠による「城下町岩槻鷹狩り行列」も昨年に引き続き行われ、街中を練り歩きました。

「城下町岩槻 鷹狩り行列」新聞報道記事



徳川家康の鷹狩り行列が日光御成道を練り歩き歴史絵巻を再現
＝3日午後、さいたま市岩槻区

江戸時代を再現 岩槻区で鷹狩り行列

さいたま市岩槻区で3日、江戸時代の將軍の鷹狩り行列を再現する「城下町岩槻鷹狩り行列」が行われ、地元市民や観光客が繰り広げられる歴史絵巻を楽しんだ。

徳川家康は鷹狩りで何度も岩槻を訪れ、岩槻城主が当時の加倉口御門外で出迎えたといわれている。再現された徳川家康と出迎える岩槻藩の行列には、公募で選ばれた100人の市民が当時の装束をまとい参加。秋空の下、「日光御成道」約1.5キロを練り歩いた。

両行列が出会い、岩槻藩が黒奴の奴振りなどを披露すると、家康が返礼に放鷹を披露。悠然と飛ぶ鷹が鷹匠の手に戻ると、沿道の観客から一斉に拍手が送られた。

徳川家康役を務めた見沼区の病院職員本沢武さん(74)は「生まれ育った岩槻で昔を思い出して目頭が熱くなった。將軍の側衆役で参加した岩槻区の小学4年新井雄大君(10)はほかまき刀で侍の姿になった。歴史の勉強になった。岩槻藩の姫役の同区の大学生小山内葵さん(23)は「皆さんに声を掛けられ、いい気分でした。来年も挑戦したい」と笑顔を見せた。(新井護)

高橋三男会長 国税庁長官表彰を受彰



埼玉県獣医師会 高橋三男会長は、10月28日、東京都港区の「三田共用会議所（中央省庁の共用会議場、主要国首脳会議（G7、G10）等も同所で開催）」に於いて開催された平成26年度納税表彰式にて、国税庁長官表彰を受彰されました。

高橋会長は獣医師として多年にわたり地域社会の先頭に立って納税思想の普及・高揚に努められる一方、地元の春日部税務署管内青色申告会連合会会長を始め、埼玉県青色申告会連合会会長、関東信越青色申告会連合会副会長等として活躍、その幅広い功績が認められ、この度の受彰の栄に浴されたものです。

獣医師会としても大変名誉あることでもあり、会報にて御紹介申し上げます。

広告

小動物医療機器のパイオニア

診察台・手術台・ケージ・各種医療機器
開業セミナー・コンサルティング

創業
75年

株式会社 本郷いわしや

〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目2番8号
TEL:03-5800-1848 FAX:03-5800-2225

本郷いわしや

検索

お知らせ

埼玉県獣医師会ボウリング大会開催のお知らせ

厚生委員会委員長 大橋 邦啓

会員及びその関係者相互の親睦と健康の増進を目的にボウリング同好会の協力を得て埼玉県獣医師会主催「ボウリング大会」を次のとおり開催いたします。

多くの皆様に参加いただき、会員やご家族、関係者の皆様との親睦を深め、楽しい時を過ごして下さい。

- 1 日 時 平成27年2月8日(日)
集 合 午後3時30分
競技開始 午後4時
- 2 場 所 スポーツ浦和国際ボウル
さいたま市桜区中島4-1-1
電話 048-853-4921
- 3 参 加 費 1,500円(貸靴料：別途、自己負担)
- 4 参加要件 会員とその家族及び従業員、賛助会員など
- 5 予定人員 60名(20レーン×3名=60名)
- 6 競技方法 一人2ゲームを投球し合計点で競います。
年齢や性別等を考慮し、ハンディキャップを設定します。
- 7 表 彰 式 競技終了後、ボウリング場内にて行います。
- 8 参加申込 参加希望者は、平成27年1月20日(火)までに氏名・年齢・性別を各支部の厚生委員に伝え、お申し込み下さい。
厚生委員は、1月27日(火)までに参加者を取りまとめの上、埼玉県獣医師会事務局に報告して下さい。



—— テレビ埼玉で放映 ——

高橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…平成27年1月2日(金)

午前11時55分～12時00分

テレビ埼玉



事 務 連 絡

平成26年11月20日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 矢ヶ崎 忠 夫

日本獣医師会ホームページ「人材募集」コーナーの拡充について

このことについては、平成26年9月10日付け事務連絡において求人情報の掲載範囲を拡大し、従来の官庁・自治体又は教育研究機関等の公的団体・施設・機関等に加え、地方獣医師会会員が開設する動物診療施設等の求人についても掲載することとした旨お知らせしたところです。

本件について、平成26年9月19日開催の平成26年度第3回理事会において、求人情報の紹介については日本獣医師会として責任ある対応がなされるべきであるとの意見が出され、勤務条件等について適正な対応がなされている施設を紹介することとなりました。

つきましては、掲載可能とする地方獣医師会会員が開設する動物診療施設等については、労働基準法はじめ関係法令等を順守し、厚生年金、健康保険、労災保険や雇用保険等の社会保険に加入し、かつ就業規則や給与規定等を有していることを条件といたしますので、貴会関係会員に周知のうえ、積極的な利用を働きかけてくださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

[参考]

日本獣医師会ホームページ 人材募集コーナー

<http://nichiju.lin.gr.jp/recruit/recruit.php>

人材募集掲載申し込みフォーム

https://seo.lin.gr.jp/nithiju/recruit/recruit_form.php

※関連記事

埼玉県獣医師会報第611号(平成26年9月20日編集)

10ページ参照

26日獣発第218号

平成26年11月18日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

平成26年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(岡山)への 参加(事前登録)の推進について

晩秋の候、貴台におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、既にご案内のとおり、平成26年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(岡山)は、平成27年2月13日(金)から15日(日)までの3日間、岡山市の「岡山コンベンションセンター」、「岡山国際交流センター」、「ホテルグランヴィア岡山」等において、農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、日本学術会議をはじめ、地元岡山県、岡山市の後援を得て岡山県獣医師会との共催で開催することとしております。

本大会では、日本医師会との連携シンポジウムとして開催する「ダニが媒介する感染症の人への健康被害」や、科学研究費助成の国際シンポジウム「栄養、代謝、免疫並びに遺伝学の応用による乳牛の疾病予防と生産性向上のためのグローバル・アプローチ」、市民公開シンポジウム「知っておきたい感染症～エボラ出血熱と鳥インフルエンザ」、市民公開シンポジウム「家畜としてのミツバチとハチミツの効用」を開催するほか、ウマを取り上げたプログラムや地元岡山の蒜山で飼養されるジャージー牛を取り上げたシンポジウム、野生動物の被害と対応を考える企画、獣医学及び動物医療が関係する種々のテーマによる教育講演やシンポジウム等を多数企画しております。

つきましては、地方獣医師会会員及び役職員はもとより、その他関係者皆様方の奮ってのご参加(事前登録)の推進について、特段のご尽力ご指導を賜わりたくお願い申し上げます。

なお、事前登録期限等は以下のとおりですので、お早めをお願いします。

区 分		参加登録料 (講演要旨集1冊含)	歓迎交流会 参加費	合 計 (消費税を含む)
会 員	事前登録(平成26年12月26日まで)	10,000円	6,000円	16,000円
	当 日 登 録	14,000円	8,000円	22,000円
学 生 会 員	事前登録・当日登録とも	0円	4,000円	4,000円
学 生 動物看護師	事前登録・当日登録とも	4,000円	4,000円	8,000円
その他の方	事前登録・当日登録とも	17,000円	10,000円	27,000円

【申込方法】学会年次大会ホームページ（<http://jvma2015.umin.jp>）から「参加登録」に入りインターネット経由でお申し込みください。

〈お問合せ先〉 株式会社日本旅行 中四国コンベンショングループ TEL:086-225-9281 E-mail:ec_okayama@nta.co.jp

獣医師法第22条の規定に基づく届出について

本年は2年に一度の届出（知事を経由して農林水産大臣に届出）を行う年になっております。

届出書（獣医師法施行規則 第6号様式）につきましては、本会報（第613号）に同封されておりますので、御活用下さい。

なお、「届出書」は、平成26年12月31日現在の状況を記入し、平成27年1月1日から1月31日までの間に埼玉県に提出（郵送又は持参）

① 提出先：〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

埼玉県農林部畜産安全課家畜衛生担当あて

※注意：Eメールやファックスでの提出は受付できません。

持参の場合、受付は午前8時30分から午後5時15分までです。（閉庁日（土日祝祭日）は受付できません。）

② 提出部数：3枚複写のうち、1枚目は届出者で保管し、2枚目と3枚目を提出して下さい。

する必要がありますが、県に直接提出頂くほか、希望する会員の先生につきましては、前回同様、本会事務局に1月20日（火）までに提出して頂ければ、事務局で取り纏め県に提出することとしておりますので、御承知おき下さい。

※ 詳しくは、下記の農林水産省ホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/22.html>

西支部新年会のお知らせ

西支部長 三森 信行

西支部の地域（比企郡、入間郡、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、川越市、富士見市、ふじみ野市、狭山市、入間市、所沢市）にお住まい又はお勤めの会員の皆様へ、恒例の西支部新年会のお知らせをいたします。

日頃お会いする機会の少ない衛生支部、農林支部、団体支部の先生方にもお気軽にご参加いただき、会員相互の交流、親睦を深める良い機会になれば幸いです。

アトラクションには前回好評を博した情熱的なボサノバライブを予定しております。

おいしい食事と本格的なラテン音楽で、優雅な大人のひとときを過ごしませんか。

多数のご参加をお待ちしております。

日時、場所は下記の通りです。参加希望の方は1月10日（土）までにFAXでお申し込みください。

記

日 時 平成27年1月18日（日） 19時00分

受付 18時30分より

場 所 川越プリンスホテル

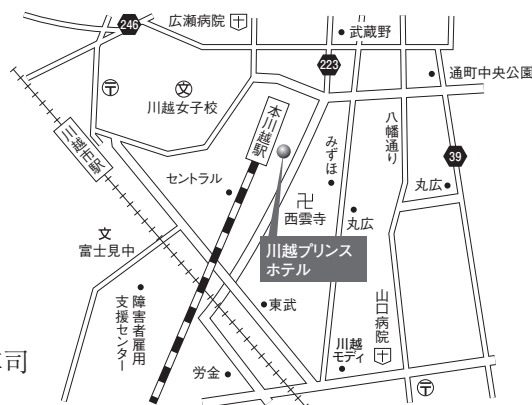
川越市新富町1-22

TEL：049-227-1111

会 費 10,000円

お問い合わせ・お申し込み 西支部新年会実行委員会 別部博司

TEL/FAX04-2948-1199



切り抜きニュース

ペットの薬無許可で販売 千葉県警 容疑の獣医師ら逮捕

ペット用の医薬品を無許可で販売したとして、千葉県警は6日、横浜市港北区で動物病院を経営する獣医師の男(60)ら3人を薬事法違反(無許可販売)容疑で逮捕した。県警は、少なくとも約7000万円を売り上げていたとみて調べている。

捜査関係者によると、逮捕されたのは獣医師の男のほか、同病院に勤務する20歳代の獣医師の女と30歳代の看護師の女。3人は2013年7月～14年6月、犬猫の繁殖などを手がけるブリーダーら数人に対し、診察をせずに感染症や虫の寄生予防のワクチンなどを計約20万円で販売した疑い。

農林水産省によると、獣医師が薬を処方する際は、動物の体重を量るなどして処方量を決める必要がある。診察した場合は「処方」となるが、診察をしていない場合は「販売」に当たるため、薬事法上、都道府県の許可が必要となる。

県警は、別の事件の捜査で今回の件を把握。6月に横浜市の動物病院など関係先を搜索した。押収した帳簿などから、男らは13年1月～14年6月、全国延べ約2000人に対して販売していたとみている。

男らは知り合いのブリーダーに対し、薬品が大量にあることを伝え、注文を受け、宅配便で送付。ブリーダーらにとっては、診察料や診察の手間をかけずに薬が入手でき、病院側も大量に薬を仕入れ、売り上げ増につながったと見られる。

読売新聞 11月6日(木)夕刊

聴導犬知って PR犬シャチ君 桶川小で実演 県動物愛護フェスティバル

聴覚障害者の耳になる聴導犬を知ってもらおうと、NPO法人「聴導犬普及協会」が桶川市立桶川

小学校で開催された県動物愛護フェスティバルに参加した。PR犬のシャチ君(9)が実演授業を行い、来場者たちに聴導犬が果たす役割を見せた。

聴導犬は聴覚障害者に付き添い、家のインターフォンや目覚まし時計の音が鳴ったことを伝えるなどして聴覚障害者たちの耳の役目を果たす。

同協会によると、全国で54頭、県内では8頭の聴導犬たちが活躍しているが、介助犬としてよく知られる盲導犬が全国で1050頭、県内に43頭いることと比べると、聴導犬の普及はまだまだ進んでいない。

フェスティバルに参加した雑種の中型犬シャチ君は9年前、千葉県の動物愛護センターで保護されているところを同協会に拾われて聴導犬として訓練された。聴導犬としての実力はつけたものの吠え癖があったため、聴導犬でなくPR犬として活躍している。

会場では訪れた多くの家族連れに、シャチ君は同協会で犬たちの訓練をする水越みゆきさん(37)と聴導犬の仕事を披露。一般参加者たちの聴導犬体験で、きっちりと参加者たちに音を伝えた。

体験に参加した大島陽菜子さん(9)は「もっと強く音を教えにくると思っていたけれど、優しく伝えてくれて驚きました」と感心していた。

(勇有花子)



タイマーの音が鳴っていることを参加者に伝えに来る聴導犬のPR犬シャチ君＝桶川市西1丁目の桶川小学校体育館

埼玉新聞 10月28日(火)

捨てられた命220匹 埼玉など大量遺棄 問われるペット社会

小型犬の大量遺棄が後を絶たない。ペットを終生飼育する義務を定めた改正動物愛護法が昨年9月に施行されて以降、山中などにまとめて放置された犬は、共同通信の集計では全国で少なくとも約220匹に上った。埼玉ではチワワなど46匹が遺棄されていることが分かっている。

大半は人気種の成犬で、年齢に伴って繁殖に使えなくなり、業者が捨てた疑いが指摘されている。衰弱したトイプードルや、水たまりで息絶えていたチワワもいた。ペットブームの陰で、動物の命をモノ扱いするような社会の在りようが問われている。

さいたま市の県営秋ヶ瀬公園周辺では、チワワ計31匹が8回にわたり見つかった。「犬がたくさんいる」。昨年10月、利用者の連絡で管理事務所の男性職員が駆け付けると、よろよろと歩く犬の群れがいた。水たまりに横たわる犬も。周囲に餌はなく、31匹中3匹は放置後に車にひかれたり、衰弱したりしたとみられ、息絶えていた。

栃木県で先月末に大量の犬の死骸が見つかった後、不法投棄が疑われる例が各地で発覚した。こ

れまで判明したのは栃木95匹、群馬11匹、埼玉46匹、山梨39匹、長崎7匹。佐賀では、マルチーズ21匹を県が保護し、ほかに数匹を動物愛護団体が確認した。栃木県警は廃棄物処理法違反などの疑いで捜査中だ。

改正動物愛護法は、自治体が業者から犬猫の引き取りを求められても拒否できると明記。共同通信の取材に、全ての都道府県が「現在は業者からの引き取りは原則断っている」とした。一方で、ある自治体担当者は「引き取りを規制されても捨てればいいという考えが一部でまかり通っている」と話す。

関東のある繁殖業者は「不要な犬を安楽死させ



さいたま市の秋ヶ瀬公園で見つかったチワワ
(動物愛護団体「HappyPaws」提供)



チワワが見つかった県営秋ヶ瀬公園の駐車場＝12日、さいたま市桜区

昨年9月以降にまとめて放置されていた犬



動物愛護法

「人と動物の共生」をうたい、ペットの殺傷や虐待への罰則を定めた法律。昨年9月施行した改正法は、所有者が動物を終生飼育するよう努めなければならないと明記。業者は販売が困難になった動物でも終生飼育の実現を図るよう求めた。全国で年間約16万匹(2012年度)に上る犬猫の殺処分を減らすため、自治体が業者から引き取りを求められても相応の理由がなければ拒否できることや、売買の際は顧客に直接見せ、対面して飼育方法などを説明する義務も定めた。

たり、庭に埋めたりする業者もいる。見つかったのは氷山の一角だ」と打ち明けた。

山梨では昨年春にも計33匹が湖畔や山中で見つかり、不法投棄は改正法施行前から横行していた可能性がある。

日本動物福祉協会栃木支部の川崎亜希子さん(43)は「私たちも消費行動を改めないと不幸の連鎖につながる。ペットショップに並ぶ子犬の親は、どうなっているのか、想像してほしい」と訴えた。

背景に業界の変化 ブリーダー増で供給過多

人気の小型犬が放置される背景には、病気などで行き場のない多くの犬の存在や、ブリーダー(繁殖業者)の高齢化、ペット業界を取り巻く環境の変化があるとの指摘もある。

昨年9月施行の改正動物愛護法は、インターネットなどで販売する際も対面での説明と現物確認を義務づけた。「写真と実物が違う」といった苦情が後を絶たないためだが、日本ペットショップ協会の作左部和雄社長(65)は「通信販売が中心だった地方のブリーダーは経営難に陥っている。今後数年で半減する可能性もある」と明かす。

作左部社長によると、全国に数千いるとされる犬のブリーダーの多くは、地方で小規模に10~20匹を育てている。一方、消費地は主に東京や大阪といった大都市圏だ。

対面説明のために業者がいちいち客の元に出向くのはコストがかかる。作左部社長は「ブリーダーは気軽に始められるため、近年のペットブームで供給過多になった。飼育数の制限など一定のルールで規制する必要があるだろう」と提言する。

犬の病気や、ブリーダーの廃業で一度に多数が路頭に迷う場合もある。埼玉県のパットオークション業者で、業界団体会長の上原勝三さん(58)

は「ブリーダーの高齢化が進んでおり、今回のような問題は今後増えるのではないかと警鐘を鳴らす。

上原さんは、そうした犬を一時的に保護する施設「シェルター」を2010年に開設。これまでに約2700匹を引き取った。

運営費はオークションを利用するブリーダーやペットショップからの寄付で賄い、シェルターに保護された犬は動物愛護団体などに引き取られていく。上原さんは「不要だからと処分するのではなく、こうした仕組みが全国に広がり、一匹でも多くの命を救えるようになれば」と話した。

埼玉新聞 11月16日(日)

平成26年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成26年11月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
6月14日(土) ～15日(日)	第88回獣医麻酔外科学会／第100回日本獣医循環器学会／第55回日本獣医画像診断学会 2014春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
6月22日(日)		南第一支部・南第二支部 「獣医病理学をもっと身近に感じるために ～専門医の立場から～」 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
8月24日(日)		さいたま市支部 「僧帽弁閉鎖不全症の外科適応と内科適応 ～循環器内科医の立場から～」 東京動物心臓病センター日本獣医循環器 学会認定医 岩永孝治 先生 (さいたま市 大宮法科大学院大学)	
8月24日(日)		東支部 「犬と猫の消化管疾患診断アプローチと 治療のコツ2014」 日本小動物医療センター消化器科 中島亘 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
9月7日(日)	平成26年度 関東・東京合同地区獣医師大会 (山梨) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (山梨県中巨摩郡昭和町 アビオ)		
9月21日(日)		東支部 「犬種別眼科疾患：柴犬・シーズー」 どうぶつ眼科Eye Vet 小林一郎 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月17日(金)	北支部・八日会、しゃくなげ会 埼玉県支部 「子牛の免疫について」 酪農学園大学 大塚浩通 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月19日(日)		西支部 「内分泌を極める 副腎」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月26日(日)		北支部・八日会 「違いのわかる獣医師になろう!! 前肢の歩行異常を見きわめる」 日本大学生物資源科学部獣医学科 枝村一弥 先生 (本庄市 児玉文化会館セルディ)	
10月26日(日)		東支部 「膝蓋骨脱臼治療の合併症 橈骨・尺骨の骨折治療の合併症」 コーネル大学 (米国獣医外科専門医) 林慶 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月7日(日)		南第一支部・南第二支部 「動画から学ぶ! 犬および猫の上部呼吸器疾患について」 日本獣医生命科学大学 藤田道郎 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月14日(日)		北支部・八日会 「違いのわかる獣医師になろう!! 後肢の歩行異常を見きわめる」 日本大学生物資源科学部獣医学科 枝村一弥 先生 (本庄市 本庄商工会議所)	
12月21日(日)		西支部 「内分泌を極める 甲状腺」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月25日(木)	農林支部 平成26年度埼玉県家畜保健 衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成27年 2月1日(日)		さいたま市支部 「犬・猫の眼瞼・眼球腫瘍の病理 ／猫のパピローマウイルス関連皮膚腫瘍」 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
2月13日(金) ～15日(日)	平成26年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (岡山) (岡山市 岡山コンベンションセンターほか)		
2月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月8日(日)		西支部 「麻酔・周術期管理」 小動物麻酔鎮静サポート 長浜正太郎 先生 (川越市 川越南文化会館)	

事務局より

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vmc.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|--------|--|-----------|--|
| 10月23日 | 第3回理事会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） | 12月11日 | 平成26年度新入会員研修会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） |
| 10月23日 | 一般社団法人埼玉県医師会と公益社団法人埼玉県獣医師会の学術協力の推進に関する協定書調印式（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） | 12月12日 | 日本獣医師会第4回理事会（東京都港区 日本獣医師会） |
| 10月26日 | 彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2014（桶川市 桶川市立桶川小学校） | 12月14日 | 北支部・八日会合同学術研修会（本庄市 本庄商工会議所） |
| 10月26日 | 北支部・八日会合同学術研修会（本庄市 児玉文化会館セルディ） | 12月16日 | テレビ埼玉「新春挨拶番組」収録（さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル） |
| 10月26日 | 東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ） | 12月17日 | （予定）第4回理事会（さいたま市内） |
| 10月28日 | 日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム（東京都千代田区 日比谷公会堂） | 12月21日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） |
| 10月28日 | 第2回狂犬病予防委員会（東京都千代田区 日比谷公会堂） | 12月25日 | 平成26年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会（さいたま市 埼玉会館） |
| 11月9日 | 第1回厚生委員会（吉見町 吉見総合運動公園） | 平成27年 | |
| 11月9日 | 第37回埼玉県獣医師会ソフトボール大会（吉見町 吉見総合運動公園） | 1月6日 | 豊かな埼玉をつくる県民の集い（さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル） |
| 11月15日 | 第58回埼玉県公衆衛生大会（さいたま市 さいたま共済会館） | 2月1日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 With You さいたま） |
| 11月19日 | 小動物臨床講習会「平成26年度集合狂犬病予防注射実施者講習会」（さいたま市 大宮ソニックシティ） | 2月13日～15日 | 平成26年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岡山）（岡山県岡山市 岡山コンベンションセンターほか） |
| 11月21日 | 日本獣医師会新規獣医師臨床研修会（熊谷市 マロウドイン熊谷） | 2月19日 | （予定）平成26年度第3回関東・東京合同地区獣医師会理事会（山梨県笛吹市 ホテルやまなみ） |
| 11月26日 | 日本獣医師会第16回総務委員会（東京都港区 日本獣医師会） | 2月20日～22日 | 第11回日本獣医内科学アカデミー学術大会（神奈川県横浜市 パシフィコ横浜） |
| 12月7日 | 南第一支部・南第二支部合同学術講習会（さいたま市 埼玉会館） | 3月8日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） |

編集後記

日々仕事に追われながら生活していると時の経つのを忘れてしまう。もう12月。今年は自然が猛威を振るい始めた歳なのか？台風も集中豪雨も今までになく大きいし、数も、大地震も多い、長野の白馬村でまた被害が出た。自然にお願いしても仕方がないが、ほどほどにして欲しいものである。

本号の記事にもある様に、去る10月23日にラフォーレ清水園で役員全員出席のもとで公益社団法人埼玉県獣医師会高橋三男会長と一般社団法人埼玉県医師会金井忠男会長との間で「学術協力の推進に関する協定書」が締結された。そして同時に高橋会長の要請により、古川俊治参議院議員に顧問の就任もお引き受け頂いた。手当無くしてご指導頂けるという。古川先生と高橋会長との長い間のお付き合いのお陰である。これをバネに我々は益々人と動物が共存・共生して行く為に社会に貢献して行かなければならない。

また、その一環として10月28日に日本医師会と日本獣医師会の主催による連携シンポジウムで「人と動物の共通感染症を考える＝「狂犬病の現状と対策」が日比谷公会堂で開催され埼玉県から70名を超す参加者があった。

5題の講演が行われ、中でも注目すべきはフィリピンで狂犬病感染犬に咬まれて帰国した日本人の患者を診察した京都の洛和会丸太町病院二宮院長の「我が国で36年ぶりに発生した人の狂犬病事例」の生々しい発表である。先日ソニックシティで開催された集合狂犬病予防注射実施者講習会で配布された別刷り資料に一部あるので是非目を通して戴きたい。

同10月28日には高橋三男埼玉県獣医師会会長が財務省から国税庁長官表彰を受表彰された。もしかしたら我々の業界で獣医師としては初めてではなかろうか？長年の春日部税務署管内の青色申告会会長としてのご尽力や、30数年前に県獣医師会でも大変様々なご苦労戴いたことなどに対してであろうが、大変おめでとうございませう。これからもご活躍をお願い申し上げます。

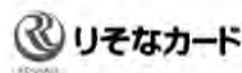
栃木や群馬だけではなく埼玉でも相次ぐ犬の遺棄事件が起きていると言うが、埼玉県では数年前から条例で数多く飼っている業者に対しては届け出と講習会の受講を課している。景気に左右され、何処でもまだ法や規制の網をくぐろうとしているブリーダーや業者はいる。我々の仲間で彼らの動向を察知出来た獣医師はいないのか？察知したら次の犠牲を出さない為にも保健所に連絡するなど、連携を取る必要があろう。また、ワクチンの無許可販売等、薬事法違反で摘発された獣医師もいる。我々も含めてモラルの向上が急務である。

厚生委員会主催の37回目を数えるソフトボール大会が昨年と同様一回順延となったが、その後、何とか雨も降らずに無事に終了した。参加された皆様大変お疲れ様でした。また、優勝された西支部の先生方、おめでとうございます。何処のチームも力が拮抗してきて今年も楽しい一日が過ごせました。賛助会員の皆さんだけのリーグ戦も楽しんで戴きご苦労様でした。来年も動けます様にトレーニングしておきましょう。

11月19日の集合狂犬病実施者講習会で講師の氏政先生から、生体の販売が二年で20%落ち、また企業病院やグループ病院の進出等で大変厳しい状況だが、飼い主一人一人を大切にしっかりと患者の話を聞き、病状を理解出来る様に説明することが大切だとの話があった。また、矢ヶ崎日獣専務理事によると公務員獣医師の処遇改善も満足とまでは行かないまでも、多くの県で改善されつつあるという。動物病院の勤務獣医師の処遇も改善されているとはいえ、昔から低賃金、長時間労働も一つの原因となり新卒者が高度獣医療病院や企業病院へ就職してしまい、一般開業病院への就職が少なくなっている状況もある。勤務獣医師や動物看護師の雇用問題も大きな課題である。

問題山積であるが今後ともに獣医師会会員が一つに纏まってスクラムを組んでこの業界が未来に繋げられる様、連携し、協力し合って行きましょう。
(不動)

動物病院ご経営の皆様



クレジットカード払いのご導入について

高度医療・緊急診療…クレジットカード払いの導入をお勧めします！

近年、動物病院様におかれましては、お客様から『クレジットカードで支払いたい』という要望が確実に高まっております。
この機会に経費精算の効率化・簡素化、並びにお客様の利便性向上の観点から、ぜひクレジットカード払いの導入をお勧めします。

埼玉県獣医師会の会員様限定…

- ・加盟店手数料を優遇します！
- ・導入費用は一切かかりません！
- ・加盟料無料&カードリーダー無償です！



詳しい条件は下記連絡先へ

法人カードのご導入について

出張費、接待費、ネット決済…法人カードのご導入をお勧めします！

公共料金やネット決済等クレジットカードの利用シーンはますます拡大しております。
出張・接待費等の立替払いの削減、備品購入・継続決済等に係る経理事務の合理化などに役立つ『法人カード』のご導入をお勧めします。

りそな法人カードを使うと…

- ・ポイントが貯まります！
- ・旅行傷害保険がついて出張も安心！
- ・経理事務が楽になります！



各商品の詳細はWEBで

お申込み・お問い合わせについて

弊社より「お申込資料」をお送りしますので、ご郵送でお申込み下さい。

※本ご案内はカード加盟店に未加盟の会員様が対象となっておりますので、

既に加盟店契約をされている場合は、弊社と契約出来ない場合もございます。

※法人カードのお申込みに際し、カード発行審査がございます。

りそなカード株式会社 首都圏営業第二部

電話 **03-5665-0650** (平日9時～17時 土日祝除く)

※お電話の際は必ず「埼玉県獣医師会の会員」様である旨を伝えて下さい。

弊社ホームページ <http://www.resonacard.co.jp/>

[りそなカードで検索]

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

代表取締役 高野恵一

URL : www.zenoaq.jp

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理に — ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI



M MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入りの
お得なセット



【容 量】 各 100 mL

M 森久保薬品株式会社 神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL : 046-222-2333(代)

東京 : 042-564-2381 埼玉 : 04-2968-0881 三郷 : 048-948-2112 神奈川 : 046-221-0620 ツクバ : 0296-43-1661
山梨 : 055-224-5278 群馬 : 027-230-3322 栃木 : 028-666-3399 茨城 : 029-241-3131 成田 : 0476-40-5811 茂原 : 0475-24-1613